

# ドリブル

発行：  
第 497 号 茅ヶ崎サッカー協会  
広報委員会  
(Web版 002号)



少年のリーグ戦会場は、市内小学校のグラウンドが使用不可の為、東邦チタニウムグラウンド、しおさいグラウンド、海浜公園などを利用しての再開となった。緊急事態宣言から半年ぶりの公式戦である。



## コロナウイルス禍 感染防止対策の上 活動再開へ

新型コロナウイルスの影響で延期されていた各カテゴリーの練習は8月より、リーグ戦は、9月再開した。

リーグ戦は、試合当日までの選手個人での健康状態、体温記録、チーム毎の健康チェックシートやレフリーの検温記録などの提出、試合中は、控え選手のマスク着用などの感染防止対策のもと、再開した。

## ～コーナー フラッグ～

茅ヶ崎サッカー協会 広報委員会委員長 石黒義行

### “新型コロナウイルスとオフトの言葉”

なぜこのような題名にしたのか。1つは、新型コロナウイルスの流行です。遅れていた少年リーグも9月から始まりました。学校での練習もようやくできるようになりました。

私も、夏休み学校グラウンド(8月上旬)と8月後半からの平日練習にコーチングに行き始めました。マスクをつけてグラウンドに立つと「コーチ、こんにちは」と子ども達から元気な声がかかります。私自身、子ども達から元気をもらっています。

新型コロナは、第1波(4月～5月がピーク)から第2波(7月～8月がピーク)となり、患者数は増えていますが死者数は減っています。最近では、若者の患者が増えています。コロナはいつ収束するかわかりませんが、少年少女たちもコロナにかからないように気を付けて練習に励んでほしいものです。

▲2つ目はオフトの言葉ですが、3月29日にNHKテレビで「オフトの言葉」が放映されました。私は、偶然その本を手に入れました。オフトはユーゴスラヴィアが民族の問題で四分五裂したときの代表監督でした。彼自身も妻子と2年半も離ればなれになる生活を余儀なくされる状況下で、チームを率いました。力のある選手を起用せよというマスメディアの圧力がある中で、自分の考えを貫きました。上手な選手より、多少下手でもチームのために全力を尽くす選手、精一杯走り続ける選手を起用しました。それが、チームの向上につながり、WCベスト8に輝きました。紛争が収まったのちも、当時の選手から尊敬の念を抱かれています。そのオフトが、Jリーグで弱小チーム柏レイソルを率い、レイソルにリーグ初戴冠という偉業を達成しました。

2つのことから考えたこと。サッカーとは何なのか。

サッカーが人類に与えるものは何か。それは夢であり希望です。私もこの素晴らしいスポーツに、今後とも微力ながら関わっていこうと思っています。

茅ヶ崎サッカー協会Web広報版

<https://m.facebook.com/茅ヶ崎サッカー協会-816806031781254/>

# 令和2年協会長杯(少年6年)兼

## 全日本U-12サッカー選手権大会代表予選特別大会 開催

令和2年度協会長杯(6年)兼全日本U-12サッカー選手権大会代表予選特別大会が、9月21,22日、しおさいグラウンドで行われた。今年は、コロナの影響でFAリーグのブロック代表戦が実施されない為、優勝、準優勝チームは、全日本U-12サッカー選手権大会茅ヶ崎市代表として、出場する。

【大会成績】

優勝：カルベソール湘南

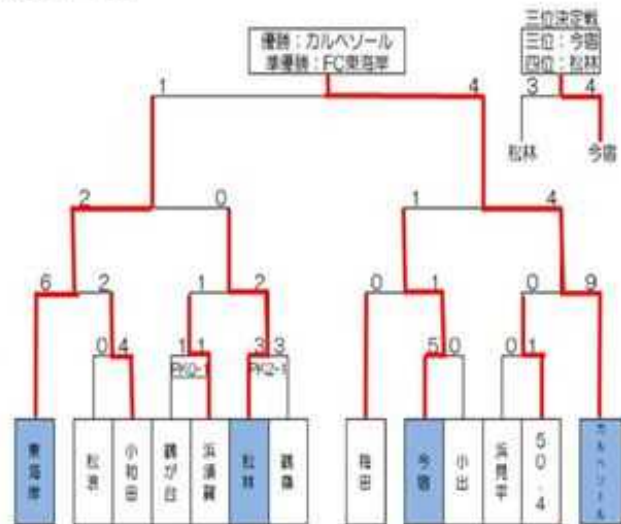
3位：FC今宿

準優勝：FC東海岸

敢闘賞：FC松林ジョーズ



【上段：優勝：カルベソール湘南/下段：準優勝：FC東海岸】



## 2020 オールドリーグトーナメント開催 優勝：ウイト東海岸オールド

7月より開催されていたオールドリーグトーナメントは、8月29日に3位決定戦と決勝戦が行われ、ウイト東海岸オールドが優勝し、閉幕した。

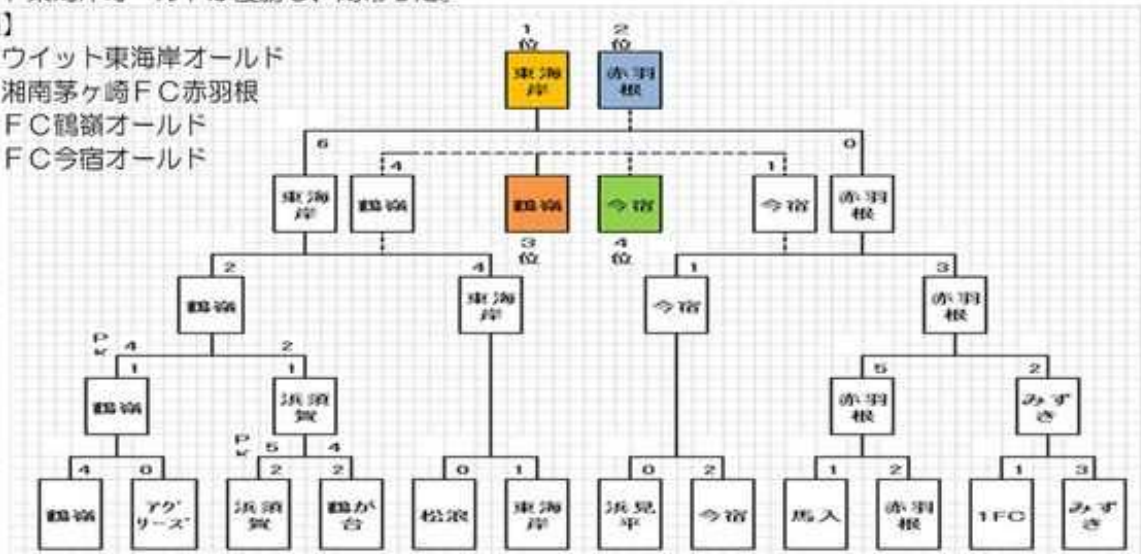
【成績】

優勝：ウイト東海岸オールド

2位：湘南茅ヶ崎FC赤羽根

3位：FC鶴嶺オールド

4位：FC今宿オールド



茅ヶ崎サッカー協会Web広報版

<https://m.facebook.com/茅ヶ崎サッカー協会-816806031781254/>